

別表（別記様式第7号関係）

水産業強化支援事業事後評価報告書

		岩手県農林水産部 水産振興課	
政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進		
政策目標	資源管理目標	整理番号 2-1	
事業実施主体	岩手県		
実施地区	岩手県沖合海面		
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度	
	令和2年度	令和2年度	
交付金額	84,961円		
事業計画の内容	本県地先海域において、隣県漁業者間や異なる漁業種類の漁業者間等のトラブル防止において、関係者の話し合いの場を設定し、漁場利用調整の実施・指導を行う。		
評価	成果目標		
	現状値	漁場利用調整・指導の実施：7回（令和2年度末）	
	目標値	漁場利用調整・指導の実施：9回（平成2年当初）	
	(1) 現状値の説明	青森県及び宮城県との協調操業に係る会議等に計7回出席し、本県沖合海面での漁業トラブルの防止や解決が図られた。 なお、新型コロナウイルスまん延に伴い、会議への出席や指導等が予定通り行えず、目標値に到達しなかった。	
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)		
	(3) 所見	隣県との協調操業に係る会議等の開催により、本県沖合海面での漁業トラブルの防止や課題解決が図られた。	
(4) 評価機関の意見等	—		
今後の改善方向等に関する分析	漁業者間のトラブルを未然に防止し、協調操業を図るため、引き続き関係者間の話し合いの場を設定していくことが重要である。		

水産業強化支援事業事後評価報告書

岩手県農林水産部
水産振興課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増殖目標	
事業実施主体	岩手県	
実施地区名	岩泉町、野田村、花巻市	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和2年度	令和2年度
交付金額	2,642,000円	
事業計画の内容	サクラマス資源造成計画策定に係る資源状態調査の実施（産卵床調査及び放流効果調査）	
評価	成果目標	
	現状値	内水面水産資源の調査（産卵床調査：10回、稚魚放流効果調査：12回）（令和2年度末時点）
	目標値	内水面水産資源の調査（産卵床調査：6回、稚魚放流効果調査：6回）（令和2年度末）
	（1）現状値の説明	内水面水産技術センターが行った産卵床調査及び稚魚放流効果調査の実績値
	（2）地域への経済効果（ハード事業のみ）	
	（3）資源管理の取組状況等（ハード事業のみ）	
	（4）所見	産卵床調査の結果から、安家川及び豊沢川では水量等の環境変化の影響により、産卵床数が変化したと考えられる。 サクラマス資源の造成には、資源状態を把握するとともに、環境の変化や種苗の放流数等の要因が資源に与える影響を評価し、効果的な放流手法を検討していく必要がある。
（5）評価機関の意見等		
今後の改善方向等に関する分析	資源量を把握していくとともに、環境の変化や種苗の放流数等が資源に与える影響を評価し、効果的な放流手法を検討するために、今後も調査を継続する必要がある。	